

第 58 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会開催ご案内

総会開催にあたって

会 長 細野 朗

(日本大学 生物資源科学部)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、2025 年（令和 7 年）1 月 24 日（金）、25 日（土）の両日、神奈川県藤沢市にあります日本大学生物資源科学部湘南キャンパスにおきまして第 58 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

本学会は、無菌生物を用いた生理学、微生物学、免疫学的な基礎研究及び感染症や移植領域等の臨床医学的な検討、更には植物学まで、幅広い分野の研究者によって研究発表と活発な討論が行われて参りました。その成果の中には、近年の常在細菌叢または病原性微生物と宿主とのかかわりを示す多くの知見や、造血幹細胞移植をはじめとした高度な微生物管理の医療応用があります。

今回の総会では、特別講演、特別セミナー、シンポジウム、テクニカルセミナー、一般演題から構成いたしました。そして、無菌生物を用いた生命科学の新展開は、今後の更なる医科学・獣医学・農学（食品科学）への発展につながるような機会になればと切に願っております。会員の皆様には奮ってご参加いただき、多くのご発表と討論で本総会を盛り上げていただきますようお願い申し上げます。

会 期	2025 年（令和 7 年）1 月 24 日（金）、25 日（土）
会 場	日本大学 生物資源科学部 2 号館 211 講義室（総会・学術集会） 2 号館 2 階 会議室 1（理事・評議員会） 本館 G 階「オリビア」（情報交換会） 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866 TEL：0466-84-3985
参 加 費	7,000 円 学生会員 1,000 円
懇親会費	3,000 円

日 程 （一部変更の可能性あります）

会 場	1 月 24 日（金）	1 月 25 日（土）
日本大学生物資源 科学部・2 号館・ 211 講義室	12:10-13:10 開会の辞、総会	9:00-9:50 一般演題Ⅱ
	13:10-14:00 一般演題Ⅰ	10:00-10:50 特別講演
	14:10-16:40 シンポジウム	11:00-11:50 テクニカルセミナー
	16:50-17:30 特別セミナー	11:50-12:00 佐々木正五賞授与
	17:30-17:40 記念写真撮影	閉会の辞
	17:50-19:00 情報交換会	

特別講演 「無菌生物を使った栄養学研究の現在（過去）から将来への展望」（仮題）

シンポジウム 「生物の誕生から成長・老化まで微生物が関わる生体応答を紐解く」

特別セミナー 「無菌生物を用いた胆汁酸代謝の研究、今昔」（仮題）

テクニカルセミナー 「無菌生物を用いた実験手法」

一般演題申し込み

- a. 対象 本学会会員
一般演題の演者と共同発表者は本学会会員であることを要します。未入会の方は日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務局への入会の手続きをしてください。無菌生物学・ノートバイオロジーに関する新しい知見を有する研究で未発表のものに限ります。
- b. 締め切り日 2024年(令和6年)10月25日(金)
- c. 申込み方法 MS-Wordで読み込み可能な文書ファイルで申し込み書を作成の上、E-mailに添付して、第58回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会事務局 brs.jagg58@nihon-u.ac.jpへお送りください。
- d. 申し込み書 ①演題、②発表者(演者の前に○をつけてください)、③所属、④抄録、⑤英文演題、⑥英文発表者、⑦英文所属、⑧英文抄録、⑨演者、連絡先、氏名、生年月日、⑩TEL、⑪FAX、⑫E-mailを明記してください。
①～⑧を「抄録集」B5版見ひらき2頁(和文と英文)に印刷します。
- e. 略語 本学会の会員構成は広範な領域にわたってます。略語(abbreviation)は初出のところに「略さない形」(full term)をお示しください。

例)

第53回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会一般演題申込書(2019年9月1日)	
① 演題	bioBubbleとIVCを用いたマイクロバイオーム実験環境の構築
② 発表者	○何裕遥, 小倉智幸, 富山香代, 高橋利一
③ 所属	公益財団法人 実験動物中央研究所
④ 抄録	(1,200字以内) I. 目的(またははじめに 背景等) 無菌マウスやノートバイオトマウスの飼育環境として…………… II. 材料(または対象)と方法 IVCは日本クレア(株)製、BubbleはbioBUBBLE, Inc製…………… III. 結果、考察、結論 実験1ではケージ交換を週に2回行う群は9週間の無菌……………
⑤ 英文演題	Building of microbiome experiment using bioBubble and IVC
⑥ 英文発表者	○Yuyo KA, Tomoyuki OGURA, Kayo TOMIYAMA, Riichi TAKAHASHI
⑦ 英文所属	Central Institute for Experimental Animals (CIEA)
⑧ 英文抄録	(250 words 以内) Recently, it has been reported that germ-free mice can be reared in positive pressure individually ventilated……………
⑨ 演者	連絡先、氏名、生年月日 〒210-0821 神奈川県川崎市 何裕遥 (19……年……月……日生)
⑩ TEL	044-201……内線1234
⑪ FAX	044-201……
⑫ E-mail.	……@ciea.or.jp

演題の採否はご一任くださいますようお願い申しあげます。演題が採択されましたら、機関誌「無菌生物」のプロシーディングスとして掲載する原稿をご提供いただきます。詳しくはお申込み後にご提案いたします。

日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務局
〒201-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町3-25-12
公益財団法人 実中研内 小倉智幸
TEL : (044) 201-8520、FAX : (044) 201-8521
E-mail : jagg@ciea.or.jp